

## ♪「第5回・ぬくもりコンサート」ぶらり訪問記♪

日時 2010年12月25日(土)16:15 開場  
会場 国立市民芸術小ホール内スタジオ  
主催 音楽センター三多摩教室

会場は100人も座れば一杯になるこじんまりしたスタジオですが、客席が階段状に作られていてとても聴きやすい会場です。

ロビーやステージなど会場内にアコーディオンの描かれた絵画や人形などの置物がたくさん飾ってあり、雰囲気づくりのすてきなコンサートです。絵は全て菊地毅さん(教室生)の作品です。

オープニングは、全員合奏による「いい日旅立ち」でした。続いてトップバッターが恒例になった「ゼンザーズ」が最初に登場し「琵琶湖周航の歌」を合奏。その隊形のまま舞台上に仲間が残り、演奏者は

1~2  
歩前  
に出  
る形  
(写



真はその様子)でゼンザーズのメンバー全員が「エデンの東」「高原列車は行く」「月の砂漠」などの独奏を行い、もう一度「ラブ・ミー・テンダー」を全員で合奏する構成でした。

独奏する際の今回のアイデアは、右手だけの演奏者にはリーダーが後ろでベースを邪魔にならないようにそっと入れていたりとても効果が出ていたと思います。皆さんとっても柔らかい音色です。高齢でもあるゼンザーズの方にとっては仲間が後ろにいることで落ち着いて弾けたのではなかったかなと思いました。

ゼンザーズ生みの親である遠藤さんは、今回も仙台から駆けつけ演奏に加わっていました。独奏曲を用意して来るなど、とても楽しみにしていた様子です。

次に演奏された安藤さんと石橋さんの重奏(下の写真)はこれも恒例で、今回は軽快



なテンポの「イン・ザ・ムード」に挑戦です。息のあった演奏にいつも感

心させられます。二人の演奏を続けて聴いてきて、お互いに影響し合ってお互いに大きく成長しているなと本当に感じられます

他に「金と銀」「リベルタンゴ」と独奏が続く、みんなであうおうコーナーではプログラムに刷り込まれた「みかんの花咲く丘」「昴」「少年時代」「ジングル・ベル」を教室生全員が舞台上に上り半数は伴奏隊に、半数は歌唱隊に分かれ、和やかにうたいました。

ちょっと休憩では、ロビーにお茶とキャンディーなどが用意されていて皆さん話が弾んでいました。

休憩のあとは、「フーガの会」(教会で演奏しているメンバーとのことでした)の賛助出演(4人)で「ロンド 二短調」の四重奏。

音楽センターの山田千賀子さんは、「INORI ~祈り」「水に流して」を独唱。その後「On the sunnyside of the street」「タンティアンニ プリマ」「パリのお嬢さん」と独奏が続く、教室生全員による「歓喜の歌」(下の写真)で終了とまりました。(乙津:記)



